
仮題 送信間に合った

たけのすけ2

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

仮題 送信間に合った

【Nコード】

N2642L

【作者名】

たけのすけ2

【あらすじ】

コピペみたいなのを作ってみたら、2ちゃん規制されてここに。

需要あればまた書きます。

よっころしょ。

若気の至りつてあるだろ。恋愛つてモンが手探りだった頃の過ちみたいな。

俺が高校三年の秋ぐらいの話なんだけど、同じクラスの奈津美つてコに告白されてさ。

眼鏡掛けてて影の薄いコなんだけど近くで見たら結構かわいい。

俺はカッコ良いわけじゃないし成績もスポーツも普通以下だったから、そんな時ばかりかわれてるんじゃないかと思って、わざと怒ったような顔して立ち去ったのね。

そしたら次の日奈津美の友達四人に呼び出されて囲まれてさ。なんであんなひどい事すんのかって俺を責めるわけ。

奈津美はその場にいなかったから、こいつらの中でどんな話になってるかわからない。どうやら奈津美の告白が本気みたいってわかったから動揺しまくりの俺は言い訳もできなくて、謝って逃げた。

卒業までは女子に睨まれて過ごしたね。奈津美とは目も合わせられなかった。針のムシロ。

でも高校生活でキスもしたことない俺はだんだん妄想がでかくなってきた。

ひよっとして奈津美と二人きりになれたら少しくらい無茶しても（キスぐらいなら）許されるんじゃないかって思うようになってた。そんなチャンスは一度も来なくて卒業式を迎えたんだけど。

卒業式の翌日、意を決した俺は人気のない旧校舎に奈津美を呼び出した。電話じゃ元気なさそうだったけど奈津美は素直にやって来た。二人になったもののアガっちゃって言葉が出ない。用意してたセリフも飛んじやってるし。逆上した俺は、部屋の角まで奈津美を追い詰めて無理矢理キスした。鼻に眼鏡が当たって変な感じだった。

奈津美は固まったまま動かないの。で、泣くような笑うような顔してうつむいてる。

パニクリまくりの俺はやっぱり、何も言えなくて逃げた。床に落ちた眼鏡が割れちゃったみたいで悪いことした。

まあ若気の至りって言っても、今は最高の思い出なんだけど

何年かして社会人になってから、同窓会の話で奈津美と親しかった友人（四人のうちの一人名）から聞いた。俺は訳あって行けなかったけどそいつの話によると、

奈津美にはあの時、もう次の新しい彼氏がいたこと（俺、顔面蒼白ひきつつって今の俺みたいだったと思う）。

でもファーストキスは俺だったらしくその男に今も恨まれてるらしい（もう俺、膝ガクガクでさっきまでの俺みたい）。

その後の話は頭がボーっとしちゃって良く覚えてない。

ただ、今はそいつと結婚して幸せに暮らしてるって。

俺は今でも彼女作ってないけど、奈津美の事は忘れられないいい思い出だ。なんだったら旦那から奈津美奪ってやり直したい位。

実は偶然昨日、奈津美夫婦の家見つけて、懐かしくて尋ねちゃったんだけど。

深夜なのに、大きな声で警察呼ぶとか言っちゃって意味わかんない

し。近所迷惑だよな。

でも包丁が腹に突き立ってる旦那の（なに信じられない）みたいな顔みてたら少し笑えた。

風切り音がやけにうるさい。

ぐんぐん地面が近づいて来る。あいつが幸せに

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2642/>

仮題 送信間に合った

2011年1月16日06時49分発行